

いのちの ささやき

文・写真／宮崎雅子

身体がひらく

お湯の中に身を沈め 妊婦はゆったりとすわっている
人魚のように 水をまとい 時おり前かがみになって
静かに 痛みを乗り越えている
身体がひらくとき 女性の身体には何がおこっているんだろう
ただ その神秘に 叡智と宇宙のつながりを感じるばかり
お湯から上がると お腹の赤ん坊は ずんと降りてきたようだ
床にすわりこむ妊婦の背中へは 柔らかな光を受け 震えている
助産師の手が 呼吸に合わせ 優しく腰をさする
母の産道を 今 赤ん坊は 必死で くぐり抜けている



みやざき まさこ 写真家。写真集に『Mother』（医学書院）、『NICUのちいさないのち』（メディカ出版）、『胎動』（ショパン）、共著者に『いのちを産む』（学研）、『母になる』（メディカ出版）など。出産や赤ちゃんなどいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。写真展『Mother』を各地で開催中。